

令和4年度

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

## 目 次

### 令和4年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1	概要	1
2	事業活動の状況	1
3	会議に関する事項	11
4	役員等に関する事項	12
5	登記事項	13
6	常勤の役員及び職員に関する事項	13

### 令和4年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1	貸借対照表	15
2	貸借対照表内訳表	16
3	正味財産増減計算書	17
4	正味財産増減計算書内訳表	18
5	財務諸表に対する注記	20
6	附属明細書	21
7	財産目録	22

	監査報告書	24
--	-------	----

# 令和4年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

## 1 概要

令和4年度は、かごしま水族館の指定管理者として新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期しながら効率的な管理運営に努めるとともに、「かごしま水族館運営計画」に掲げた6つの重点施策の着実な推進に取り組みました。また、開館25周年を記念し、パネル展を開催したほか、地元イラストレーターデザインオリジナルマグカップを作成し、開館記念日等に配布しました。

展示の充実・新たな魅力づくりについては、ジンベエザメを継続的に飼育するとともに、カツオやキハダ、グルクマを黒潮大水槽に搬入するなど、展示の充実を図ったほか、イベント「いるかの時間」等の更新を行いました。

学習交流活動及び水族館SDGsの推進については、さまざまな世代や目的に応じた体験プログラムを企画し実施したほか、繁忙期には動物福祉にも配慮し生きものの様子や生態を伝えるイベント「タッチは“お休み”プールでヒミツをさがせ」を行いました。そのほか、イルカ・ゴマフアザラシ等の繁殖に取り組みました。

情報発信力の強化及び受入態勢の充実については、ゴールデンウィークや夏休み等に合わせて県内の学校等にイベントチラシを配布したほか、新たにオリジナルLINEスタンプを作成するなどSNSを活用した情報発信を継続して行いました。また、入館料のキャッシュレス決済システムを導入しました。

戦略的な誘致活動の推進については、県内幼稚園・保育園等訪問や関西・九州地区における教育旅行誘致セールスを再開したほか、新たにJR九州と連携し、特別イベント「いぶたま水族館」を行いました。

館内外の魅力づくりについては、水族館の夜間活用として修学旅行団体等や水族館ウェディングへの貸切水族館を、夏休みの土曜日とお盆に屋外芝生広場でキッチンカーイベントを行いました。また、イルカ水路（中央エリア）でシイラやマンボウの展示を行いました。

ショップ収益力の強化については、特別企画展とタイアップした商品販売や「今こそ鹿児島の旅クーポン」の受入のほか、県内外で行われたイベントに出展し商品販売を行いました。

令和4年度の入館者数は611,543人、入館料収納額は501,719,790円となり（P7別表1）、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度とほぼ同水準となりました。

## 2 事業活動の状況

### (1) 公益事業

鹿児島市との協定に基づきかごしま水族館の管理運営等を行うとともに、水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与するため自主事業と受託事業を行いました。

#### 1) 自主事業

##### ① 水族館スクールの開催

水族に関する知識の普及や啓発を目的に水族館スクールを実施しました。

	実施日	タイトル	参加人数	合計
第1回	4月17日	体験！一日飼育係	15人	90人
第2回	6月20日	大人のための体験飼育係	15人	
第3回	11月23日	体験！一日飼育係	15人	
第4回	12月19日	大人のための体験飼育係	16人	
第5回	1月20日	体験！一日飼育係	14人	
第6回	3月5日	体験！一日飼育係	15人	

- ② ニュースレター「さくらじまの海」の発行  
展示生物の紹介やかごしま水族館のイベント・トピックス等を紹介する情報誌「さくらじまの海」を4回発行し、学校・団体等に配布しました。

- ③ かごしま水族館ボランティアの運営  
令和4年度も引き続き「鹿児島県における感染拡大の警戒基準」を参考に展示生物等の知識を深めることを目的とする自主研修活動を行ったほか、11月19日には、3年振りとなる対面でのボランティア会議を館内のイルカ館で開催しました。  
また、25期となる新規ボランティアの募集を行いました。

ボランティア（平成10年から）	人数
第1期生～第24期生（令和5年3月末現在）	101人

- ④ 水族の保護及び保存に関する調査研究活動  
錦江湾内で鯨類調査を行いました。令和4年度は、特別企画展関連イベントを含め計7回の調査を実施しました。

調査日	ミナミハンドウイルカ	調査海域/方法
5月15日	発見なし	湾奥・湾央/船舶
6月7日	発見なし	湾奥/車両
8月2日	1群20頭	湾奥/船舶
10月4日	1群25頭	湾奥/船舶
	1群20頭	湾央/船舶
	発見なし	湾口/船舶
11月2日	1群25頭	湾奥/船舶
12月13日	発見なし	湾奥/車両
1月10日	1群10頭	湾奥/車両

## 2) 受託事業

- ① 敷地、建築物及び附属設備等の維持管理  
建物等の清掃、警備及び維持管理、諸設備の運転管理や保守を行うとともに、大型映像装置音声ミキサー・映像スイッチャーの更新等を行いました。また、鹿児島市の「公共建築物ストックマネジメント事業」に基づき、計画的な建築物等の維持保全に努めるとともに鹿児島市認定の環境管理事業所として、引き続きエネルギーの消費削減に努めました。

- ② 水族の収集、飼育及び展示

### ア. 黒潮大水槽の展示

ジンベエザメを健全に飼育するために照明器具の更新など飼育環境の改善を行ったほか、カツオ106尾、キハダ74尾を搬入するなど、展示の充実に努めました。

### イ. 地域の特色魚類の展示

地元の漁師の協力や職員の自家採集により、グルクマやカミクラゲなど新たに10種類の地域ならではの生きものの展示を行いました。

### ウ. イルカ・アザラシの繁殖に向けての取組

イルカの繁殖を目指し内視鏡を使用した人工授精を行いました。

エ. 新規の館内展示水族

主な新規展示水族

展示開始日	生物名	展示開始日	生物名
5月 9日	オキナワリュウグウミウシ	5月30日	アマクサウミウシ
6月 6日	カッパウミウシ	6月 6日	ミガキブドウガイ
7月15日	Icelopagurus undalatus	7月15日	キカザリサンゴヤドカリ
7月15日	オオヒロバカニダマシ	7月15日	サメハダヤドカリ
7月15日	オキナワホンヤドカリ	7月15日	スベスベサンゴヤドカリ
7月15日	ツマキヨコバサミ	9月29日	ゼニガタフシエラガイ
2月20日	スガシマサンシキウミウシ	2月20日	シノビイロウミウシ
3月11日	ネズミウミウシ		

③ 特別企画展の開催

常設展示とは異なったテーマで様々なアイデアや趣向を凝らし、ポピュラーな話題から専門的なものまで深く掘りさげて情報提供するとともに、リピーターの方々にも楽しんでいただけるように、特別企画展を実施いたしました。

「いい部屋あります！！ ようこそ ヤドカリ不動産」では、学校の教科書にも度々登場する子どもたちにもなじみ深い生きものである「ヤドカリ」の多様な生態を「家」という視点から紹介しました。

特別企画展

開催期間	タイトル
7月15日～10月31日	いい部屋あります！！ ようこそ ヤドカリ不動産
3月17日～ 5月31日	鹿児島海のほ乳類 ～座礁クジラが教えてくれたこと～

④ 教育普及活動・体験型講座の実施

薩摩伝統の郷中教育の要素を取り入れた体験型連続講座「いおっ子海っ子体験塾」や、学校及び団体向けのプログラム「いおワールド生きもの講座」、職場体験や学芸員等実習の受入れを行いました。一部講座については、昨年度に引き続き、実施の見合わせや参加人数を減らすなど感染防止対策を行いました。

	タイトル	実施回数	参加人数
1	いおっ子海っ子体験塾	10回	152人
2	ワクワクきびなご塾	12回	514人
3	いおワールド生きもの講座	205回	8,903人
4	職場体験学習	16回	70人
5	学芸員等実習	9回	11人
合計		252回	9,650人

⑤ 水族館SDGsの推進

ア. 4園館連携講座の実施

かごしま環境未来館、平川動物公園及び重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアムと連携してSDGsに関する講座及びスタンプラリーを実施しました。

イ. タッチプールの新しい取組

水産資源の維持継続的な利用や動物福祉にも配慮したタッチプールの取組として、生きものが傷つきやすい繁忙期には生きものタッチを中止して、「触らないからこそ見られる」生きものの様子や生態を伝えるイベント「タッチは“お休み”プールでヒミツをさがせ」を行いました。

⑥ 各種イベントの実施

通常の館内イベントのほか、次の特別イベントを実施いたしました。

	イベント名 (回数等)	内 容
1	いおの日 (12回)	「ウミウシぼうしをつくろう」など新規4講座を含む全12講座を実施しました。
2	夜の水族館 (26回)	夏休みの土、日曜日、祝日とお盆期間に開館時間を21時まで延長しました。
3	黒潮大水槽バックヤード一般公開 (14回)	普段見ることができない黒潮大水槽の裏側を公開しました。
4	トワイライトアクアリウム (25回)	水槽照明を変更して、夜の魚たちの様子を観察できるようにするほか、館内のBGMの変更や館外にイルミネーションを設置し、普段とは違う雰囲気演出する「夜の水族館」限定のイベントを行いました。
5	星に願いを！ ～水族館で七夕飾り～	7月1日～8月7日の期間で来館者に短冊に願い事を書いていただきました。
6	フォトコンテスト	水族館の生きものを対象にしたフォトコンテストを実施しました。応募数576作品 優秀作品39作品 展示期間11月20日～2月20日
7	ジンベエザメの食事をまちかで見よう (17回)	黒潮大水槽のバックヤードからジンベエザメの食事の様子を飼育員が解説するイベントを行いました。
8	ピラルクーにエサやり体験 (9回)	世界最大級の淡水魚ピラルクーにエサを与えるイベントを行いました。
9	水族館で凧を作ろう！	1月2日に水族館の生きものを描いてオリジナルの凧を作るイベントを行いました。
10	アクアリウム night ヨガ (3回)、 朝ヨガ (3回)	リビングかごしま及び鹿児島市スポーツ振興協会と共同で黒潮大水槽前でヨガイベントを行いました。
11	紙粘土でつくろう (6回)	紙粘土でジンベエザメやイルカなど海の生きものを作るイベントを行いました。
12	イルカに合図をだしてみよう！ &イルカと記念撮影 (8回)	イルカに合図を出す体験と、記念撮影が楽しめるイベントを実施しました。
13	芝生広場でのキッチンカーによる飲食提供	夏休み期間の土曜日及びお盆期間、フード・ドリンクなどの販売を行いました。
14	かごしま水族館開館25周年 パネル展	4月28日～6月28日の期間で開館25周年を記念したパネル展を開催し、水族館建設から現在に至るまでに起きた出来事や展示生物、実施してきたイベントや取組などを当時の写真や新聞記事などで紹介しました。
15	いぶたま水族館	JR九州観光列車「特急指宿のたまて箱」とコラボイベントを行いました。7月30日と8月20日に列車内に水槽を設置し、錦江湾の生きもの解説を行ったほか、8月6日には水族館内でJR九州観光列車のPRイベントを実施しました。また、鹿児島中央駅構内に8月19日から31日の期間クラゲ水槽を設置しPRを行いました。

16	海の生きもののハーバリウムを作ろう	イルカやクラゲなどのハーバリウムワークショップを行いました。
17	イラストレーターと絵葉書を作ろう	イラストレーターのさくらもち氏と共同で絵はがき作りのワークショップを行いました。
18	切子のかけらワークショップ	仙巖園と共同で薩摩切子のかけらを用いたキーホルダーのワークショップを行いました。
19	KTSスマイルベイビープロジェクトinかごしま水族館	KTS鹿児島テレビ主催のイベント参加者に黒潮大水槽バックヤード見学・いるかの時間・手形プレゼントを実施しました。
20	かごしま美味深海フェスティバル	鹿児島中央駅AMU広場で開催されたイベントで深海魚(冷凍魚)のタッチコーナーや職員による解説、アミューズメントショップ商品の販売などのPRを行いました。

※網かけは令和4年度初実施のイベント

⑦ 広報宣伝・入館者誘致事業

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止していたテレビCMの放映及び旅行代理店・学校の訪問誘致活動を一部再開しました。その他、報道機関への情報提供に努めました。

ア. テレビCM等の制作・放送

春休みの観客誘致のために、15秒のテレビCMを制作し、県内及び熊本・宮崎県で放映しました。

時期	地域	放送期間	本数
春休み	鹿児島・宮崎・熊本県	3月4日～3月31日	683本

イ. 報道機関への情報提供

新たな展示水族等に関する「いおワールド情報」を報道機関へ提供し、新聞記事として掲載されたほか、テレビ等で報道されました。

ウ. SNSを活用した取組

公式SNSで生きものやイベントの情報発信を行いました。また、開館25周年を記念して地元イラストレーターデザインの公式LINEスタンプの販売を開始しました。

エ. 旅行代理店への誘致活動等

入館者増を図るため、旅行代理店や学校並びに幼稚園・保育園等を訪問し、誘致活動を行いました。

地域	訪問先	訪問件数	合計
九州地区	旅行代理店	40件	621件
	学校	22件	
関西地区	旅行代理店	31件	
	学校	20件	
県内・都城及び熊本県南部	幼稚園・保育園	508件	

オ. 貸切水族館及び児童クラブ等団体送迎サービス

1日1組限定で閉館後の水族館を貸し切り楽しんでいただく「貸切水族館」を27団体受入れました。また、鹿児島市内の児童クラブを対象に、児童クラブから水族館まで「かごんまそらバス」による送迎サービスと、水族館の見学や往復の移動時間を利用した市内の観光ガイド事業を引き続き行いました。

カ. その他

- 冬休み・春休みのイベント情報を載せた水族館イベントチラシを作成し、市内・県内の小中学校や幼稚園・保育園等に配布しました。
- 電照広告看板をJR鹿児島中央駅や桜島フェリーに引き続き設置したほか、高速道路利用者に対する広報を引き続き実施しました
- 年間パスポートについては、イベントチラシ等により周知を図ったほか、鹿児島交通の水族館・動物園線のバスに平川動物公園との共同ラッピング広告や、市営バス等への広告を実施しました。

⑧ 職員等の採用

ア. 嘱託員

採用日	職種	採用人数
4月 1日	券売・案内・アミューズメント ショップでの販売・展示解説	10人

(2) 収益事業

入館者の利便を図るとともに、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保するためにアミューズメントショップの運営などの付帯事業を実施しました。

① アミューズメントショップ等

水族館に関連する菓子やぬいぐるみ、文具雑貨等の商品を販売するアミューズメントショップの運営及び仙巖園との共通チケットの販売を行いました。

また、開館25周年に合わせて、地元イラストレーターと連携して開館25周年記念オリジナルマグカップを作成し販売しました。

なお、令和4年度のアミューズメントショップの売上額は、過去3番目の売上となりました。

令和4年度売上額

アミューズメントショップ	273,069,317円 (P9 別表2)
共通チケット	4,563,000円
合計	277,632,317円

② 自動販売機

入館者へのサービスに供するため自動販売機10台（展望ホール5台、イルカ館2台、屋外3台）の運営を行いました。

令和4年度販売手数料額 6,323,607円 (P9 別表2)

③ 今こそ鹿児島の旅事業への参加

今こそ鹿児島の旅事業の「今こそ鹿児島クーポン」の受入れを行いました。

令和4年度実績

利用者数	12,500人
売上額	29,348,982円



(別表1)

## 入館者の種別と入館料収納額

種 別		入館者数(人)	構成比(%)	入館料収納額(円)	
有 料 入 館 者	個人	大 人	225,356	36.8%	337,440,750
		小 人	51,343	8.4%	37,244,650
		幼 児	25,919	4.2%	9,036,860
		敬 老	2,990	0.5%	2,242,500
		観 光	34,707	5.7%	38,321,840
		小 計	( 340,315 )	( 55.6% )	( 424,286,600 )
	団 体	大 人	14,453	2.3%	17,343,600
		小 人	9,591	1.6%	5,754,600
		幼 児	2,314	0.4%	647,920
		小 計	( 26,358 )	( 4.3% )	( 23,746,120 )
	市 内 学 校 教 育 等	大 人	6	0.1%	4,500
		小 人	3,911	0.6%	1,466,625
		幼 児	5,205	0.8%	910,875
		小 計	( 9,122 )	( 1.5% )	( 2,382,000 )
	年 間 バ ス ポ ー ト	大 人	15,719	2.6%	43,308,000
		小 人	4,013	0.7%	5,489,250
		幼 児	3,899	0.6%	2,507,820
		小 計	( 23,631 )	( 3.9% )	( 51,305,070 )
	年 間 2 回 バ ス ポ ー ト 目 以 降	大 人	48,377	7.9%	/
		小 人	9,005	1.5%	
幼 児		13,402	2.2%		
小 計		( 70,784 )	( 11.6% )		
有 料 合 計		470,210	76.9%	501,719,790	
無 料 入 館 者	個人	障害者手帳等	19,663	3.2%	/
		3歳以下等	105,733	17.3%	
		視察その他	3,302	0.5%	
		小 計	( 128,698 )	( 21.0% )	
	団 体	生 徒 等	4,825	0.8%	
		引 率	7,810	1.3%	
		小 計	( 12,635 )	( 2.1% )	
無 料 合 計		141,333	23.1%		
合 計		611,543	100.0%		
令 和 3 年 度		397,932		301,193,890	
令 和 3 年 度 比		+ 213,611	153.7%	+ 200,525,900	
開 館 日 数		360 日	休館日 12月5日から12月8日まで 臨時休館 9月18日		
1 日 平 均 入 館 者		1,699 人			
1 日 最 多 入 館 者		9,447 人	5月4日(水)		
1 日 最 小 入 館 者		309 人	4月19日(火)		

# 月別入館者の状況

(単位：人)

月	開館 日数	有 料						無料計	月計
		大人	小人	幼児	敬老	年間パス (2回目以降)	小計		
4月	30	15,984	4,487	1,631	187	5,071	27,360	8,643	36,003
5月	31	34,010	9,656	2,526	273	6,887	53,352	16,811	70,163
6月	30	17,732	3,266	2,741	168	5,365	29,272	11,862	41,134
7月	31	24,744	5,566	3,105	270	6,263	39,948	11,816	51,764
8月	31	41,302	14,610	4,848	505	7,748	69,013	14,508	83,521
9月	29	19,832	4,545	2,627	178	5,242	32,424	12,126	44,550
10月	31	21,795	6,716	3,268	226	5,351	37,356	13,269	50,625
11月	30	20,773	5,460	2,981	213	5,206	34,633	15,061	49,694
12月	27	20,580	4,710	2,747	215	5,406	33,658	10,411	44,069
1月	31	20,603	4,690	3,285	238	6,111	34,927	8,019	42,946
2月	28	18,374	3,034	3,480	152	5,476	30,516	8,290	38,806
3月	31	28,223	7,982	4,523	365	6,658	47,751	10,517	58,268
計	360	283,952	74,722	37,762	2,990	70,784	470,210	141,333	611,543
構成比		46.4%	12.2%	6.2%	0.5%	11.6%	76.9%	23.1%	100.0%

(別表2)

## アミューズメントショップ・自動販売機の状況

(1) アミューズメントショップの購買者数・利用率・売上額・客単価

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買者数 (B)	利用率 (B/A)	売上額 (C)	客単価	
				(C/B)	(C/A)
611,543	180,706	29.5%	273,069,317	1,511	447

(2) 自動販売機の購買回数・利用率・手数料額

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買回数 (B)	利用率 (B/A)	手数料額 (C)
611,543	132,979	21.7%	6,323,607

(3) 月別状況

	アミューズメントショップ		自動販売機	
	売上額(円)	構成比	手数料額(円)	構成比
4月	14,631,257	5.3%	291,906	4.6%
5月	27,892,625	10.2%	639,184	10.1%
6月	15,498,036	5.7%	432,140	6.8%
7月	19,614,627	7.2%	514,427	8.1%
8月	35,827,910	13.1%	1,152,337	18.2%
9月	21,578,252	7.9%	520,470	8.2%
10月	29,132,052	10.7%	517,413	8.2%
11月	29,415,087	10.8%	485,547	7.7%
12月	24,166,382	8.9%	365,358	5.8%
1月	17,011,418	6.2%	580,820	9.2%
2月	13,569,719	5.0%	353,332	5.6%
3月	24,731,952	9.0%	470,673	7.5%
計	273,069,317	100.0%	6,323,607	100.0%
令和3年度比	+ 115,025,792	172.8%	+ 2,128,582	150.7%

## 来館者アンケート調査結果（概要）

### (1) 来館者の地域別状況

(単位：%)

地 域		調 査 日	
		8月6日(土) ～8月8日(月)	2月6日(土) ～2月8日(月)
市 内		38.1	44.3
県 内		21.7	28.7
県 外	福 岡	5.4	2.8
	佐 賀	1.5	0.3
	長 崎	1.5	0.0
	熊 本	9.0	4.8
	大 分	0.4	0.8
	宮 崎	4.0	9.1
	中国地方	1.7	0.0
	関西地方	3.7	1.0
	関東地方	4.9	5.6
	そ の 他	6.6	1.8
小 計		38.7	26.2
海 外		0.3	0.0
無 回 答		1.2	0.8
合 計		100.0	100.0

### (2) 情報手段

(単位：%)

種 別	調 査 日	
	8月6日(土) ～8月8日(月)	2月6日(土) ～2月8日(月)
テレビ報道等	6.4	3.4
新 聞	1.4	0.6
家 族	33.7	28.3
友人・知人	10.0	6.8
ポスター	3.7	2.6
雑 誌	2.5	2.6
ラジオ	0.0	0.0
旅行業者	0.2	0.2
ホームページ	6.5	6.2
フェイスブック	0.2	1.1
ツイッター	0.5	0.4
インスタグラム	1.4	1.3
年間パスポートを所持	12.0	21.3
特になし（なんとなく）	14.6	15.6
その他	5.7	9.0
無回答	1.2	0.6
合 計	100.0	100.0

※ サンプル数は、

令和4年8月調査 782人

令和5年2月調査 394人

### 3 会議に関する事項

#### (1) 理事会

令和4年度の理事会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項等
第1回	令和4年 4月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事、監事及び評議員選任に係る評議員会招集の件
第2回	令和4年 5月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任に係る評議員会招集の件
第3回	令和4年 6月 1日	令和4年度第3回評議員会招集の件 公益財団法人鹿児島市水族館公社事務局長選任の件
第4回	令和4年 6月 6日	令和3年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算 令和4年度第4回評議員会招集の件
第5回	令和4年 6月21日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事長（代表理事）、副理事長及び常務理事選定の件
第6回	令和4年12月23日	公益財団法人鹿児島市水族館公社職員給与規程一部改正の件
第7回	令和5年 3月 3日	専決処分の承認を求める件 令和5年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和5年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算 令和4年度第5回評議員会招集の件

#### (2) 評議員会

令和4年度の評議員会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第1回	令和4年 4月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事、監事及び評議員選任の件
第2回	令和4年 5月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任の件
第3回	令和4年 6月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件 公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任の件
第4回	令和4年 6月21日	令和3年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算 公益財団法人鹿児島市水族館公社理事、監事及び評議員選任の件
第5回	令和5年 3月17日	専決処分の承認を求める件 令和5年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和5年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算

#### 4 役員等に関する事項

(1) 令和5年3月31日現在の役員は次のとおりです。

役職名	氏名
理事長	下鶴 隆央
副理事長	松山 芳英
常務理事	山口 順一
理事	犬伏 和章
理事	佐潟 隆一
理事	寺菌 玲子
理事	中野 寿康
理事	西 隆一郎
理事	西野 友季子
理事	山元 紀子
理事	原之園 哲哉
理事	有村 浩明
監事	高橋 雷太
監事	小林 拓史

(2) 令和5年3月31日現在の評議員は次のとおりです。

役職名	氏名
会長	杉木 和子
評議員	池田 哲也
評議員	川添 啓子
評議員	倉野 満
評議員	高山 謙一
評議員	宮浦 和英
評議員	本村 浩之
評議員	山本 智子
評議員	吉永 直昭
評議員	渡 千左代
評議員	山下 聖和
評議員	奥 眞一

5 登記事項

令和4年度の登記事項は次のとおりです。

登記年月日	申請先	事項	登記原因年月日
令和4年 4月14日	鹿児島地方法務局	理事、監事及び評議員の変更	令和4年 4月 1日
令和4年 5月12日	鹿児島地方法務局	評議員の変更	令和4年 5月 1日
令和4年 6月13日	鹿児島地方法務局	評議員の変更	令和4年 6月 1日
令和4年 7月 4日	鹿児島地方法務局	理事及び監事の再任 評議員の変更	令和4年 6月21日

6 常勤の役員及び職員に関する事項

令和5年3月31日現在の人員は次のとおりです。

常務理事	事務局長	公社職員	嘱託員	臨時職員
1人	1人	32人	24人	33人
		館長 1人	アクアキャスト	事務補助 3人
		総務課 10人	券売・案内・展示解説 15人	設備管理補助 1人
		課長 1人	商品販売・管理 9人	飼育補助員 9人
		主幹 2人		調餌補助 4人
		管理係		展示解説 16人
		係長(総務課主幹事務取扱)		
		事務職員 2人		
		施設係		
		係長(総務課主幹事務取扱)		
		主任 1人		
		技術職員 1人		
		企画営業係		
		係長(総務課長事務取扱)		
		主任 2人		
		事務職員 1人		
		展示課 21人		
		課長(館長事務取扱)		
		主幹 1人		
		魚類展示係		
		係長 1人		
		主任 4人		
		技術職員 5人		
		海獣展示係		
		係長(展示課主幹事務取扱)		
		主査 1人		
		主任 1人		
		技術職員 4人		
		学習交流係		
		係長 1人		
		主任 1人		
		技術職員 2人		

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成19年法務省令第28号）第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、令和4年度事業報告の附属明細書については作成していません。



# 令和4年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

## 1 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金預金	286,264,296	232,588,292	53,676,004
未収金	8,121,333	3,653,799	4,467,534
商品	222,443	309,055	△ 86,612
貯蔵品	1,497,578	1,396,890	100,688
流動資産合計	296,105,650	237,948,036	58,157,614
2.固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	102,681,976	2,825,014	99,856,962
定期預金	0	100,000,000	△ 100,000,000
投資有価証券	97,318,024	97,174,986	143,038
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	205,787,218	191,003,438	14,783,780
減価償却引当資産	13,134,614	10,678,951	2,455,663
特定費用準備資産	9,265,000	4,725,000	4,540,000
特定資産合計	228,186,832	206,407,389	21,779,443
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	666,113	△ 666,112
什器備品	3,821,785	5,611,336	△ 1,789,551
預託金	10,550	9,550	1,000
その他固定資産合計	3,832,336	6,286,999	△ 2,454,663
固定資産合計	432,019,168	412,694,388	19,324,780
資産合計	728,124,818	650,642,424	77,482,394
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
未払金	119,870,300	84,372,497	35,497,803
預り金	4,838,398	4,283,784	554,614
未払法人税等	4,869,200	71,000	4,798,200
流動負債合計	129,577,898	88,727,281	40,850,617
2.固定負債			
退職給付引当金	205,787,218	191,003,438	14,783,780
固定負債合計	205,787,218	191,003,438	14,783,780
負債合計	335,365,116	279,730,719	55,634,397
<b>III 正味財産の部</b>			
1.指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
2.一般正味財産			
剰余金	192,759,702	170,911,705	21,847,997
一般正味財産合計	192,759,702	170,911,705	21,847,997
正味財産合計	392,759,702	370,911,705	21,847,997
負債及び正味財産合計	728,124,818	650,642,424	77,482,394

2 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I 資産の部</b>					
1.流動資産					
現金	9,148,490	4,129,846	0		13,278,336
普通預金	111,010,933	160,847,625	1,127,402		272,985,960
未収金	1,826,394	7,577,346	0	△ 1,282,407	8,121,333
商品	0	222,443	0		222,443
貯蔵品	0	1,497,578	0		1,497,578
流動資産合計	121,985,817	174,274,838	1,127,402	△ 1,282,407	296,105,650
2.固定資産					
(1) 基本財産					
普通預金	102,681,976	0	0		102,681,976
投資有価証券	97,318,024	0	0		97,318,024
基本財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当普通預金	202,778,798	354,420	2,654,000		205,787,218
減価償却引当普通預金	1,598,669	11,535,945	0		13,134,614
特定費用準備普通預金	9,265,000	0	0		9,265,000
特定資産合計	213,642,467	11,890,365	2,654,000	0	228,186,832
(3) その他固定資産					
車両運搬具	1	0	0		1
什器備品	0	3,821,785	0		3,821,785
預託金	10,550	0	0		10,550
その他固定資産合計	10,551	3,821,785	0	0	3,832,336
固定資産合計	413,653,018	15,712,150	2,654,000	0	432,019,168
資産合計	535,638,835	189,986,988	3,781,402	△ 1,282,407	728,124,818
<b>II 負債の部</b>					
1.流動負債					
未払金	97,760,220	22,265,085	1,127,402	△ 1,282,407	119,870,300
預り金	4,838,398	0	0		4,838,398
未払法人税等	0	4,869,200	0		4,869,200
流動負債合計	102,598,618	27,134,285	1,127,402	△ 1,282,407	129,577,898
2.固定負債					
退職給付引当金	202,778,798	354,420	2,654,000		205,787,218
固定負債合計	202,778,798	354,420	2,654,000	0	205,787,218
負債合計	305,377,416	27,488,705	3,781,402	△ 1,282,407	335,365,116
<b>III 正味財産の部</b>					
1.指定正味財産					
寄付金	200,000,000	0	0	0	200,000,000
指定正味財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
2.一般正味財産					
剰余金	30,261,419	162,498,283	0	0	192,759,702
一般正味財産合計	30,261,419	162,498,283	0	0	192,759,702
正味財産合計	230,261,419	162,498,283	0	0	392,759,702
負債及び正味財産合計	535,638,835	189,986,988	3,781,402	△ 1,282,407	728,124,818

### 3 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	1,643,043	0	1,643,043
受取補助金等	818,952,349	777,148,404	41,803,945
事業収益	284,181,742	165,097,465	119,084,277
雑収益	6,878,835	3,946,638	2,932,197
経常収益計	1,111,655,969	946,192,507	165,463,462
(2) 経常費用			
自主事業費	1,632,349	1,295,454	336,895
受託事業費	809,352,451	743,651,382	65,701,069
収益事業費	234,729,845	152,656,672	82,073,173
法人会計	39,224,127	38,928,458	295,669
経常費用計	1,084,938,772	936,531,966	148,406,806
当期経常増減額	26,717,197	9,660,541	17,056,656
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
電話加入権除却損	0	226,408	△ 226,408
経常外費用計	0	226,408	△ 226,408
当期経常外増減額	0	△ 226,408	226,408
税引前当期一般正味財産増減額	26,717,197	9,434,133	17,283,064
法人税、住民税及び事業税	4,869,200	71,000	4,798,200
当期一般正味財産増減額	21,847,997	9,363,133	12,484,864
一般正味財産期首残高	170,911,705	161,548,572	9,363,133
一般正味財産期末残高	192,759,702	170,911,705	21,847,997
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	392,759,702	370,911,705	21,847,997

4 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用収益	1,643,043	0	1,643,043	0	0	1,643,043
基本財産受取利息	1,643,043	0	1,643,043	0	0	1,643,043
受取補助金等	0	788,532,789	788,532,789	0	30,419,560	818,952,349
管理受託収益	0	783,403,205	783,403,205	0	30,419,560	813,822,765
受取民間助成金	0	4,829,584	4,829,584	0	0	4,829,584
その他受託収益	0	300,000	300,000	0	0	300,000
事業収益	0	0	0	284,181,742	0	284,181,742
館内販売事業収益	0	0	0	273,244,317	0	273,244,317
自動販売機収入等	0	0	0	10,937,425	0	10,937,425
雑収益	227,383	5,591,977	5,819,360	1,059,475	0	6,878,835
雑収益	227,383	5,591,977	5,819,360	1,059,475	0	6,878,835
経常収益計	1,870,426	794,124,766	795,995,192	285,241,217	30,419,560	1,111,655,969
(2) 経常費用						
事業費	1,632,349	809,352,451	810,984,800	234,729,845	0	1,045,714,645
役員報酬	0	2,657,995	2,657,995	552,310	0	3,210,305
報酬	0	35,566,425	35,566,425	22,185,530	0	57,751,955
給料	0	97,222,800	97,222,800	4,629,300	0	101,852,100
職員手当	0	71,669,262	71,669,262	3,588,167	0	75,257,429
臨時職員賃金	0	34,259,615	34,259,615	2,586,086	0	36,845,701
退職給付費用	0	12,311,760	12,311,760	129,780	0	12,441,540
福利厚生費	0	39,986,705	39,986,705	5,111,741	0	45,098,446
会議費	0	43,420	43,420	0	0	43,420
旅費交通費	2,400	3,768,461	3,770,861	477,278	0	4,248,139
通信運搬費	124,772	4,256,300	4,381,072	100,195	0	4,481,267
減価償却費	0	666,112	666,112	1,789,551	0	2,455,663
消耗什器備品費	0	1,759,156	1,759,156	369,600	0	2,128,756
消耗品費	133,467	30,847,534	30,981,001	3,021,898	0	34,002,899
水族購入費	0	3,714,807	3,714,807	0	0	3,714,807
飼料購入費	0	16,214,438	16,214,438	0	0	16,214,438
修繕費	0	31,771,314	31,771,314	0	0	31,771,314
印刷製本費	448,800	3,017,124	3,465,924	0	0	3,465,924
燃料費	0	42,644,493	42,644,493	0	0	42,644,493
光熱水料費	0	134,514,481	134,514,481	839,414	0	135,353,895
賃借料	891,000	7,900,020	8,791,020	1,751,667	0	10,542,687
保険料	22,460	1,755,413	1,777,873	253,387	0	2,031,260
諸謝金	0	334,901	334,901	0	0	334,901
手数料	7,560	6,908,074	6,915,634	1,434,491	0	8,350,125
広報宣伝費	0	19,444,860	19,444,860	0	0	19,444,860
租税公課	0	30,148,000	30,148,000	8,842,400	0	38,990,400
負担金	0	93,500	93,500	0	0	93,500
寄付金	0	200,000	200,000	0	0	200,000
委託費	1,890	175,675,481	175,677,371	1,562,714	0	177,240,085
館内販売仕入費	0	0	0	175,504,336	0	175,504,336

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
管理費	0	0	0	0	39,224,127	39,224,127
役員報酬	0	0	0	0	571,635	571,635
報酬	0	0	0	0	214,956	214,956
給料	0	0	0	0	13,349,700	13,349,700
職員手当	0	0	0	0	9,425,641	9,425,641
臨時職員賃金	0	0	0	0	3,777,596	3,777,596
退職給付費用	0	0	0	0	2,654,000	2,654,000
福利厚生費	0	0	0	0	4,626,182	4,626,182
会議費	0	0	0	0	51,300	51,300
旅費交通費	0	0	0	0	351,734	351,734
通信運搬費	0	0	0	0	705,646	705,646
消耗什器備品費	0	0	0	0	253,000	253,000
消耗品費	0	0	0	0	151,888	151,888
印刷製本費	0	0	0	0	1,280,354	1,280,354
賃借料	0	0	0	0	636,650	636,650
保険料	0	0	0	0	60,990	60,990
手数料	0	0	0	0	322,855	322,855
負担金	0	0	0	0	790,000	790,000
経常費用計	1,632,349	809,352,451	810,984,800	234,729,845	39,224,127	1,084,938,772
当期経常増減額	238,077	△ 15,227,685	△ 14,989,608	50,511,372	△ 8,804,567	26,717,197
2.経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,961,923	18,891,475	20,853,398	△ 29,657,965	8,804,567	0
税引前当期一般正味 財産増減額	2,200,000	3,663,790	5,863,790	20,853,407	0	26,717,197
法人税、住民税及び 事業税	0	0	0	4,869,200	0	4,869,200
当期一般正味財産増減額	2,200,000	3,663,790	5,863,790	15,984,207	0	21,847,997
一般正味財産期首残高	12,501,444	11,896,185	24,397,629	146,514,076	0	170,911,705
一般正味財産期末残高	14,701,444	15,559,975	30,261,419	162,498,283	0	192,759,702
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
III 正味財産期末残高	214,701,444	15,559,975	230,261,419	162,498,283	0	392,759,702

## 5 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券…償却原価法によっている。
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商品及び貯蔵品は、移動平均法によっている。
- (3)固定資産の減価償却の方法  
定額法による減価償却を実施している。
- (4)退職給付引当金の計上基準  
期末退職給与の要支給額を限度として計上している。
- (5)消費税の会計処理  
消費税の会計処理は税込み方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	2,825,014	100,000,000	143,038	102,681,976
定期預金	100,000,000	0	100,000,000	0
投資有価証券	97,174,986	143,038	0	97,318,024
小 計	200,000,000	100,143,038	100,143,038	200,000,000
特定資産				
退職給付引当普通預金	191,003,438	14,783,780	0	205,787,218
減価償却引当普通預金	10,678,951	2,455,663	0	13,134,614
特定費用準備普通預金	4,725,000	9,265,000	4,725,000	9,265,000
小 計	206,407,389	26,504,443	4,725,000	228,186,832
合 計	406,407,389	126,647,481	104,868,038	428,186,832

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	102,681,976	102,681,976	0	0
投資有価証券	97,318,024	97,318,024	0	0
小 計	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当普通預金	205,787,218	0	0	205,787,218
減価償却引当普通預金	13,134,614	0	13,134,614	0
特定費用準備普通預金	9,265,000	0	9,265,000	0
小 計	228,186,832	0	22,399,614	205,787,218
合 計	428,186,832	200,000,000	22,399,614	205,787,218

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,598,670	666,112	1,598,669	1
什器備品	15,357,730	1,789,551	11,535,945	3,821,785
合 計	16,956,400	2,455,663	13,134,614	3,821,786

### 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
国 債			
第179回20年国債	97,318,024	91,680,000	△ 5,638,024
合 計	97,318,024	91,680,000	△ 5,638,024

## 6 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、5 財務諸表に対する注記「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略します。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	191,003,438	14,783,780	0	0	205,787,218

## 7 財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	手元保管	運転資金等として	13,278,336
	普通預金	南日本銀行本店	運転資金等として	272,985,960
	未収金	信販等7社	クレジット・代引売掛商品代金等	6,495,254
		コカ・コーラボトランス 他1社	販売手数料・光熱水費	622,068
		携帯電話4社	館内設置通信機器電気代	479,351
		他4社	研究用魚体販売代金等諸収益	524,660
	商品	売店	文房具、書籍など	222,443
	貯蔵品	売店	包装用品	1,497,578
流動資産合計				296,105,650
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
	普通預金	南日本銀行本店	公益目的保有財産	102,681,976
	投資有価証券	大和証券	第179回20年国債	97,318,024
<b>特定資産</b>				
	退職給付引当資産	普通預金 南日本銀行本店	公社員32名に対する退職金の支払いに備えたもの	205,787,218
	減価償却引当資産	普通預金 南日本銀行本店	什器備品及び車両運搬具の償却引当資産	13,134,614
	特定費用準備資産	普通預金 南日本銀行本店	鯨類調査冊子制作資金 ジンベエザメ収集資金 特別企画展開連イベント開催等資金 イルカ水路南エリア網製作設置資金	2,200,000 4,725,000 840,000 1,500,000
<b>その他固定資産</b>				
	車両運搬具	小型貨物車1台	公益目的保有財産 水族収集等の用に供している	1
	什器備品	店内構造物	同上	3,764,817
		バーコードプリンタ	同上	54,084
		大型金庫1台	収益事業の用に供している	2,881
		POSシステム	同上	1
		IPトランシーバ	同上	1
		両替機	同上	1
	預託金	1台分	自動車リサイクル料金	9,550
		1口	西日本自動車共済協同組合加入金	1,000
固定資産合計				432,019,168
資産合計				728,124,818



(単位：円)

貸借対照表科目		債務の相手等	債務の内容等	金額
(流動負債)	未払金	AQUA他28社 TV局6社 芙蓉商事 日立プラントサービス 明電エンジニアリング 東京久栄 鶴田機工 千代田工販 BKファクト フタバ 九州日立 濱島印刷 ベストセキュリティ まっ工房 NEXCO西日本コミュニケーションズ センコウ 三菱電機ビルソリューションズ 日米礦油 九州電力 日本ガス 鹿児島市水道局 他85社 当公社従業員 厚生労働省年金局 各税務機関	ショップ商品仕入代金 CM放映料 設備運転管理・清掃業務等 熱源・空調設備保守等 自家発電設備保全管理 取水設備保守 飼育ポンプ修繕 紫外線殺菌ランプ 水路南エリア仕切網鋼材製作等 特別企画展会場設営業務 プレハブ冷凍庫修繕等 GWイベントチラシ作成等 常駐・臨時警備業務 特別企画展レンタル標本輸送設営 高速SA広告掲出 嘱託員制服 昇降機・ブラインチラー保守等 発電機燃料代3月分 電気料金3月分 ガス料金3月分 上下水道料金2-3月分 各種商品・サービス、委託・修繕等 報酬・手当等3月分 社会保険料3月分 決算時諸税	16,044,949 6,820,000 6,776,000 6,006,000 4,895,000 4,235,000 3,074,500 3,036,990 2,702,700 2,402,400 2,394,700 2,096,600 1,665,400 1,409,650 1,281,500 1,132,318 1,060,840 3,278,880 7,156,588 2,590,700 2,700,064 15,934,680 6,749,485 3,077,056 16,217,500
	預り金	社会保険料 所得税・住民税		3,503,130 1,335,268
流動負債合計				129,577,898
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公社員32名に対する退職金の支払いに備えたもの	205,787,218
固定負債合計				205,787,218
負債合計				335,365,116
正味財産				392,759,702

# 監査報告書


令和5年6月2日

公益財団法人鹿児島市水族館公社

理事長 下鶴 隆央 殿

公益財団法人鹿児島市水族館公社

監事 高橋 雷太 

監事 小林 拓史 

私たち監事は、公益財団法人鹿児島市水族館公社の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第11期事業年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について次のとおり報告する。

## 1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関連する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

## 2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

